

令和6年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和6年8月26日(月曜日)			開会	9:55		会議場所	別海町議会 委員会室3	
				閉会	11:10				
委員の出欠	3番	高橋 眞結美	出席	6番	宮越 正人	出席	9番	小椋 哲也	出席
	10番	外山 浩司	出席	13番	中村 忠士	欠席			
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉課長		介護支援課長		老人保健施設事務長	
		干場みゆき	欠席	石戸谷 友絵	欠席	高橋 勇樹	欠席	渡辺 久利	欠席
		訪問看護ステーション所長		福祉課主幹		介護支援課主幹		居宅介護支援事業所長	
		堀 留美	欠席	澤田 憲一	欠席	松本 静香	欠席	大道 詳子	欠席
		福祉課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		老人保健施設主査	
		大森 晴海	欠席	天神 幸子	欠席	井川 仁	欠席	中田 幸規	欠席
		老人保健施設主査		老人保健施設主幹					
	佐藤 裕美	欠席	東田知佐子	欠席					
	保健生活部	保健生活部長		保健生活部次長兼保健センター長		保健生活部次長		保健生活部次長兼町民課長	
		小川 信明	出席	千葉 宏	出席	田村 康行	欠席	谷村 将志	出席
		生活環境課長		保健課主幹		町民課主査		町民課主査	
		上田 健一	出席	畠澤みどり	欠席	小野 絵里	欠席	真籠 美香	欠席
		町民課主査		生活環境課主査		生活環境課主査		保健課主査	
		永田 恵一	欠席	木村 洋平	欠席	中川 雅章	出席	山崎 さおり	欠席
		保健課主査		保健課主査		母子健康センター主査			
	能登麻奈美	欠席	佐伯 祐司	欠席	岩光理代子	欠席			
	別海病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課主幹		病院事務課主幹	
		三戸 俊人	出席	椋木 直人	出席	奈良 司	出席	大森 圭介	出席
	委員外の出席	議長	西原 浩				合計	1名	
	事務局職員	事務局長	干場 富夫				合計	1名	
傍聴者数	一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

令和6年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 10番 外山	9:55 開会
	出席委員4名、欠席委員1名、委員外1名、会期1日
	【病院所管事務調査】
病院事務長 三戸	挨拶及び概要説明
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス、インフルエンザについて 新型コロナウイルスの感染状況は、7月には減少傾向が見られたが、お盆休み明けは1日で10名以上の陽性者が発生している。人の出入りが多くなったのだと思う。それに従い、コロナ専用病床には高齢者・小児も入院もしている。発熱外来も継続して実施しているが、そろそろ収束すべき時期と考え、コロナの診療体制は維持するが適時縮小して通常の状態に持っていくよう努力する。 インフルエンザは5月から感染者がなく、収束したのと考えていたが、8月に入り受診した方から感染者が発生した。去年もそうだったが、例年と比べてインフルエンザへの感染が早まっている。 ・新型コロナワクチンの接種について 10月から新型コロナワクチンの接種を予定している。正式な日程・料金については、後日改めてお知らせする。 ・常勤医の確保について 中島先生、越智先生退職後、後任の医師の方針について継続して札幌医科大学に働きかけを行い、医師の確保に努めている。当面の間は、現行体制で町民の皆様に適切な医療サービスを継続して提供できるよう対応してまいりますので、ご理解をお願いしたい。
委員長 10番 外山	議事1 所管事務調査
	(1)町立別海病院の運営について
病院主幹 大森	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月から7月の経営状況について資料により説明。 患者数の動向について（入院）は、内科、外科とも大きく減。3月末に医師が退職したことで入院患者受入れ体制が縮小した結果と考える。4月から7月までの病床利用率は55.6%、前年比較で7.8ポイント減。整形外科の増は、手術件数の増によるもの。 患者数の動向について（外来）は、内科、外科とも大きく減。要因は入院と同様であると考える。小児科が大きく減となっているのは、感染症の流行に左右されるため、昨年度が例年と比較して多かった。なお、各診療所については例年並みの患者数。 収支の動向について（医業収益）は、4か月累計で前年と比較して9,000万円強の減。 収支の動向について（医業費用）は、医師の退職による給与費の減や薬品費の減により大きく減額となったが、本業収支である企業収支は収益の悪化により、4か月累計で5,000万円強の減。 収支の動向について（医療外収益）は、一般会計から繰出金を前年から4,000万円増額しており、その増額分を年度当初の4月で受け入れている。また、6月の繰入金も前年より2,000万円増額して受け入れている。 収支の動向について（医療費用）は、大きな増減はない。 事業収支は、前年比較で約680万円の増となっている。ただし、一般会計繰入金の増額によるものであり、医業収支では大きく数字を落としている。 医師の確保がままならない状況のため、現診療体制では収益の増加はなかなか難しいが、取り組みを継続していく。また、経営改善業務を委託して、病院経営支援機構と打ち合わせを重ね、コスト軽減に向けた取組、施設基準の取得状況の精査を進めて

令和6年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

	いるが、今後も病院規模の適正化など、広い視野、長期的目線での検討を推進していく。
委員長 10番 外山	質疑
委員長 10番 外山	・整形外科が増えている原因について、聞き漏らしたため教えてもらいたい。
病院主幹 大森	・手術件数が令和5年24件、令和6年33件と増えたことで入院患者数が増となった。
委員 9番 小椋	・小児科医は減っていないのに、患者数が減っている原因についてと、内科の入院患者数が大きく減っているが、ベッドの空きは目立つような状態なのか。
病院主幹 大森	・小児科の患者数については昨年度が前年より比較して多かった。数字にすると令和3年2,413人、令和4年3,100人、去年が4,000人強。今年は外的要因などで去年より落ちたと考える。
病院事務長 三戸	・内科医1人なので、担当する患者数は限度があるため、ある程度調整をしながらの対応となっているので内科の入院数についても去年と比較して落ち込みが激しい。
委員 9番 小椋	・内科の入院患者数減の理由ではなく、いつも10床ぐらい内科病床は空いているのか、それとも、ベッド自体はある程度埋まっているが抜けが少し目立つぐらいなのか。 明らかに院長が1人なので実質受け入れられませんという感じで調整をしているのか、それとも空いている時が多いなというくらいで済んでいるのか。
病院事務長 三戸	・必要な患者については当然受け入れているが、内科だと10床ぐらいは空いてる状況。
委員 9番 小椋	・外科の夜勤時に入院患者がいないタイミングがあったという話を聞いた。外科手術の件数は増えているが、医師が1人減ったことによって入院患者数も減少傾向なのか、偶然居なかったのか、減少せざるを得ない状況なのか。
病院事務長 三戸	・整形外科は、肩の手術等を中心にコマ数を増やしていただいているので手術件数は上がっている。外科医が1人のため、いままでと比べてリスクの高い困難な手術は、熟慮した上で、必要に応じてやるかやらないかを決定しているため、外科の手術件数自体は少なくなっている。救急のもの、ある程度簡易なもの、例えば盲腸や鼠径ヘルニアなどは、医師と看護師の状況に合わせて実施している。 外科の入院患者がいないタイミングについては、外科医が休暇を取得していた時期と重なり、どうしても退院させたとかではなく、退院してもいいよという状況だったため、たまたま入院患者が居なかった状態。
委員 3番 高橋	・いままで越智先生を主治医としていた患者は、西村先生に変更したと思うが、越智先生の患者を西村先生が全部受けるとキャパオーバーになるのではないかと。1か月ごとの受診の方を3か月ごとにするなどしているのか。
病院事務長 三戸	・対応については患者次第。薬だけだったら1か月から3か月になった方や、定期受診が必要な場合は院長が診ている方もいる。 また、脳神経内科から月に1回、当直と併せて医師に来ていただいているので、専門的な診察が必要な場合はそちらを受診されていたり、別海病院で診られない方については他院紹介という形で対応している。
委員長 10番 外山	・肩の手術が増えたという話があったが、出張医が来てくれている日は、月固定なのか、それとも患者によって変動しているのか。
病院事務課長 椋木	・肩の専門医については、前年度までは月に2回の木曜日だったが、今年度から月曜日の月に2回も追加となり、平均で月に4回。毎回手術をやっているわけではないので、単純に倍になるというわけではない。
議長 西原	・今の産婦人科の状況について、誰が外来を担当して、週に何回ぐらいあるのか。 また、別海病院で出産したいが分娩は再開できないのかと聞かれるが、再開の目処はあるのか。 最後に、地域包括ケア病棟をやっていたと思うが、現状について。
病院事務長 三戸	・山内先生が会計年度任用職員となり産婦人科は週に3コマ対応している。

令和6年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

	<p>いま分娩は中標津病院等をお願いしているが、初期の段階から中標津での分娩を考え、検診も中標津にスライドしている状況。</p> <p>3コマの中でも、分娩と絡まない産婦人科の患者や、妊娠でも急を要する場合は別海病院を受診していただいている。必要に応じて入院する患者もいる。</p> <p>分娩の再開については、山内先生は引退ということで取り扱わないということ、別海病院以外の産婦人科でも複数人の産婦人科医によって維持しているので、現状複数人の産婦人科医を確保するのは難しいと思う。</p> <p>ただ、別海町から奨学金を借りて札医大を卒業した医師もいるため、将来的にはもちろん打診し、来てもらうことは考えているが、早急に産婦人科医を複数人揃えて分娩の再開というのは難しいと思っている。</p>
病院主幹 奈良	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括のケアについては、病床維持するに当たって2つの目標の稼働率が必要となるが、4月末時点で満たさなくなったため5月1日時点で閉鎖し、一般病棟に振り替えた。
委員長 10番 外山	<ul style="list-style-type: none"> ・満たせなかった目標の詳細について。
病院主幹 奈良	<ul style="list-style-type: none"> ・1つが、地域包括ケア病床に入った後、退院する時の在宅復帰率。地域包括ケア病床というのはあくまで在宅、家に戻るとというのが基本であり、在宅復帰率は72.5%で目標に届いていた。
	<p>2つ目が、看護必要度。ケア病床の中で行っている色々な看護の状況の率が、基準を満たさなくなったため、こちらから取り下げた。</p>
委員長 10番 外山	<ul style="list-style-type: none"> ・いままでは問題なかったのか。
病院主幹 奈良	<ul style="list-style-type: none"> ・いままでは看護必要度は割と高めだったのでずっと基準を満たしていた。どちらかというと在宅復帰率を調べてることが多かった。
議長 西原	<ul style="list-style-type: none"> ・要件を満たさなくなったということだが、その要因は医師が少なくなったからなのか、要件を満たす患者がいなくなってしまうからなのか。
	<p>また、19床あったと思ったが、何床あったのか確認したい。</p>
病院主幹 奈良	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病床は、ケア病床に入れる日数は60日と決められている。 <p>例えば、1度入院し、在宅復帰に向けてケア病床に入り、退院し、もしまた戻ってくるとなった場合、同じ病気でケア病床に入る場合、60日はリセットされずに通算されていくので60日で切られる。</p> <p>そういった患者が多いため、病棟の看護師長がベッドをコントロールしていたが、患者を見つけるのが大変だとは聞いていた。</p> <p>病床数は14床。</p>
委員 6番 宮越	<ul style="list-style-type: none"> ・別海病院で対応できない患者は、ほかの病院に紹介すると思うが、基準は医師によるのか、それとも病院として紹介する基準があるのか。
	<p>また、紹介することができる医師とできない医師がいるのか。</p>
病院事務長 三戸	<ul style="list-style-type: none"> ・外科、内科、小児科は責任者が1人のため、比べようがないが、何でも紹介というわけではない。 <p>患者の状況を踏まえて、地域の状況もわかっていて、患者の状況・過程に合わせて別海病院を受診するのか、紹介するのかは適切に判断していると考えている。</p> <p>あとは病状によって、別海病院で処置するよりも釧路等で処置するのが適切なものは従来どおり紹介している。</p>
委員 6番 宮越	<ul style="list-style-type: none"> ・8月になってインフルエンザが増えてきているという話があったが、インフルエンザのワクチンは用意できているのか。
病院事務長 三戸	<ul style="list-style-type: none"> ・いまのところインフルエンザワクチンについては、供給不足が懸念されるような話は受けていない。 <p>新型コロナのワクチンは予想できないが、昨年末に高齢者の接種をした時、無料だったが多くの人々が接種していなかった。</p>

令和6年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

	<p>助成金額はまだ決定していないが、今回有料で接種開始することになったが、今後爆発的にはやるような事態になれば、有料でも接種者が増える可能性はあるが、去年と比べても、接種者はある程度の人数だと予想している。あくまでも予想のため、今後の流行によっては違う状況も考えられる。</p> <p>製薬会社の「早めに発注してください、用意してください。」という動きもいまのところはない。</p>
委員 6番 宮越	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の中で町長が、これから決まりそうな医師がいるという話をしていたが、ほかに来てくれそうな医師はいないのか。
病院事務長 三戸	<ul style="list-style-type: none"> ・札医大からは、打診というか、地域枠の方の中で、候補の一つとして別海町もどうだろうという話も聞いているため、何人かは将来的にいらっしゃるのかなと考える。 ・病床利用率・入院患者外来数も、医者が決まらないと具体的な動きもなく、経営機構ともやり取りさせていただいているが医者が決まらないと方向性も明確に持っていけないため、なるべく早くに目途が立ってほしいと思っている。 ・こういう医師がいるんですよ、というお話は何っているが正式に決定したわけではないので大手を振って大丈夫とは言い切れないが、いい方向に向かうように調整したい。
委員長 10番 外山	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来の担当者は、未だに兼務で担当しているのか。
病院事務長 三戸	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の配置は看護部に任せている。その日その日で発熱外来の担当を決める対応は変わっていない。
委員長 10番 外山	<ul style="list-style-type: none"> ・他に質疑あるか。
委員 一同	<ul style="list-style-type: none"> ・なし
	10:33 病院終了 休憩
	10:41 再開
委員長 10番 外山	挨拶
	【保健生活部所管事務調査】
委員長 10番 外山	議事1 所管事務調査
	(2)墓地の管理について
保健生活部長 小川	挨拶
生活環境課主査 中川	<ul style="list-style-type: none"> ・墓地の管理について資料により説明
委員 9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・墓地の管理について、霊園は会計年度職員により管理しているが、その他24墓地の管理は町内会で管理している場合が多いのか。
生活環境課主査 中川	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会での管理も多いが、町内会の中で墓地管理人をやってくれる方を選定し、その方が管理していることもある。
委員 9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減っていく中で、墓地管理人を継続していけるか懸念がある地区はないのか。
生活環境課主査 中川	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に上春別でそういった話があった時は、町内会と協議し、選定していただいた。 ・今後高齢化が進む中で、若い方に管理人をやっていただくことにもなると思うが、町内会や管理者とも随時協議を行いながら話を進めていければと考えている。
委員 3番 高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・管理について、西春別と中春別への報酬額が多いのはなぜか。
生活環境課主査 中川	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備費として、例年上がってきた部分を平均した額を合算して2万円分の上乗せをしている。
委員 3番 高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備費とは何か。
生活環境課主査 中川	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈りやそれに係る消耗品費。
委員 3番 高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・草がぼうぼうで、草刈りされてないと西春別の方から聞いたのだが。
生活環境課長 上田	<ul style="list-style-type: none"> ・各墓地からはそのような話は聞いていない。年に何回草刈りしてくださいという決め事がないため、あくまで町内会の方が費用の中でやっているという感じなので、草刈りもやってはいただいていると思うが、その時期が伸びたのではないかと思う。
委員 9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・合葬墓について、予約は受けていないということだが、ご本人が決断して、合葬墓に入

令和6年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

	<p>りたいから、自分で手続きしたいってニーズも想定されると思う。また、遺族に手間をかけたくない、墓に入りたくないから合葬墓に入れてくれ、等があっても自分が亡くなったらどうなるかわからないから予約したいというケースは想定しているのか、もしくは過去にそういう問い合わせはあったのか。</p>
生活環境課長 上田	<ul style="list-style-type: none"> ・合葬墓を予約したい方の理由は、数がなくなるんじゃないかというのが1つ。また、亡くなった後に遺族の手を煩わせたくないというのはあると思う。 しかし亡くなった後に、遺族が健在の中で、町が強制的に合葬墓に入れることができるのかという問題が出てくるので、弁護士などに亡くなったあとの約束をしようと思う。 そうすると、予約は数だけの問題になってくる。数が確保できるとということで、現在予約制は必要ないという判断している。
委員 9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・亡くなる方の意思、終活の一環で、全部やりたいっていう意思があり、例えやったとしても、実際に亡くなって骨になったら、その骨をどうするかは遺族がアクションを起こさないと思うにもならないから、現状で落ち着いているという認識でよいか。
生活環境課長 上田	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。
委員 6番 宮越	<ul style="list-style-type: none"> ・墓じまいしたなかで合葬墓に入る人はいるのか。
生活環境課主査 中川	<ul style="list-style-type: none"> ・墓じまいし、改装して合葬墓に入る人もいる。
委員 6番 宮越	<ul style="list-style-type: none"> ・年額2万円の管理費報酬で足りているのか。
生活環境課長 上田	<ul style="list-style-type: none"> ・西春別と中春別については、管理費が2万円で足りないことを実績で確認し、4万円必要だということで増額した。同じく他の墓地の方にも、2万円で足りない場合は実績を出していただければ出すという話を過去にしているが、現在の額で十分という形で上がってきていると聞いている。
委員長 10番 外山	<ul style="list-style-type: none"> ・墓地管理人との会議で意見を汲み取ることはできないか。
生活環境課長 上田	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、墓地管理人の会議を実際やっていたが、会員の方が会議があっても大して話題がない時期だったため、集まる必要があるのかという話が出た。今後は連絡があれば文書なり電話なりでいだろうということで、会議を開催していないと聞いている。西春別の管理人から、「管理人会議はやらないのか。」と聞かれたが、いとと同じような説明をし、了解を得ている。
委員 6番 宮越	<ul style="list-style-type: none"> ・墓地の駐車場敷地、墓地までの道路整備、水道などについて要望はきているか。
生活環境課長 上田	<ul style="list-style-type: none"> ・私が来てからは水道についてはないが、墓地までの砂利道の砂煙がひどいから何とかしてほしいと要望はあった。その件に関しては、町で砂利を購入し、墓地管理人に敷いていただいた。駐車場がないこと、土地がないという場合は対応が難しいと思う。 8月9日に、合葬墓用の花立と線香立を合葬墓前のベンチの両方に設置したことを報告する。
	<p>議事2 その他</p>
保健生活部長 小川	<p>(1)根室北部廃棄物処理広域連合におけるごみ処理施設の整備方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根室北部廃棄物処理広域連合におけるごみ処理施設の整備方針に関して、今後の議論の進め方、これまでの経緯を踏まえて、報告したい。 先日の臨時議会で町長から報告があったが、7月19日の広域連合議会の臨時会閉会后に、今後のごみ処理施設の整備の在り方について、広域連合事務局長から広域議員に検討資料の内容説明があった。 現在、広域ごみ処理施設は稼働開始から18年目を迎え、今後の整備方針については各町で検討資料を持ち帰り、考え方を整理している段階。 町においても、所管する生活環境課を中心に施設整備検討資料を精査しているところであり、議会も精査する場が必要となることから、議会と協議の上、9月2日に課題共有会議を開催する運びとなった。この会議において、広域ごみ処理施設の今後の建て替え等整備方針について、担当職員より説明を予定している。

令和6年第8回福祉医療常任委員会 要点記録

	その後、整備方針の協議を経て、11月中旬を目途に町議会の意見を伺い、11月下旬に開催される広域連合議会の運営会議に町としての方向性を示し、12月の広域連合定例会で決定するというスケジュールを想定している。
委員長 10番 外山	・議会と協議というのは、改めて説明があるということか。
保健生活部長 小川	・9月2日に配付した資料の概要・詳細について説明する。
	その後、議会の協議等については議員で決めていただくことになる。
	現時点で想定してるスケジュールであり、町としてのスタンスを決めるところまでは町として議会とも相談しながら行っていきたいと考えている。
委員 6番 宮越	・ごみの現状も踏まえて、別海町だったらこういう方法が1番いいなという方法が実はあるのではないか。
保健生活部長 小川	・1番考えなければならないのは、経済性、効率性、正直予算の問題が大きいと考えている。それらを検討した上で、いままでの積み上げの中で別海町にその施設があるという現状を踏まえた上で、また0から積み上げていくのはなかなか難しいかなと認識している。
	いずれにしても4町の広域なので、他町の意見を踏まえながら、決定していかなければならない。
委員長 10番 外山	・他に質疑あるか。
委員 一同	・なし
委員長 10番 外山	閉会挨拶
	11:10 閉会